

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP
World Supersport rd.1 Phillip Island Grand Prix Race Report

Kawasakiで2シーズン目を戦う大久保 光
フィリップアイランドのSuperpoleを8番手で終える

2019年度スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) がオーストラリアのフィリップアイランドで開幕。大久保光はWSBKへの挑戦をはじめ4シーズン目に突入する。Kawasakiへ移籍し2年目となる今シーズンもWorldSSPクラスへ、カワサキオフィシャルチーム“Kawasaki Puccetti Racing”より参戦。マシンはKawasaki ZX-6Rを駆る。2月18~19日の2日間開催されたオフィシャルテストでは、精力的に周回数を重ね初日ベストは1'34.135で5番手、19日は1'34.880で7番手の結果を残し、良い手応えで最終テストを終える。

2月22日、今シーズン初のFP1ではタイムを意識したセッティングに注力し、残り10分の時点で2番手タイムを計測。結果として総合7番手。FP2はレースアベレージUPを目標にセッションを消化。全体的にレースに向けポジティブな印象で初日を終了する事が出来た。

土曜日のFP3もFP2に続き、レースを意識したセットアップに注力。万全の体制でWorldSSP - Superpoleを迎える。天候に恵まれ気温20度以上の快晴の中、定刻10時55分にセッションがスタート。一斉に全チームがトラックへ飛び出す。大久保は3周目に1分33秒756、5番手タイムをマークし一旦ピットイン。タイヤ交換を行いタイミングを見計らう。残り8分でタイムアップを図るべくコースイン。7周目にセクター1、セクター2と自己ベスト更新し、大幅なタイムアップが期待されたが、コース上で想定外のトラフィックが発生しタイムロス。

結果、3周目のタイムがベストとなり、Kawasaki勢トップとなる8番グリッドより決勝を戦う事となった。

■大久保 光

「今シーズンは、テストの段階より全てがうまく機能しています。テストではタイムアタックとレースアベレージを上げる為に様々な事を試していますが、ポジティブな印象でレースウィークを迎える事が出来ました。週末のフリープラクティスで、様々なシュミレーションを行いSuperpoleに挑みました。序盤3周目に総合5番手タイムを出す事が出来、残り8分の所でタイムアップを図るべく再コースインしました。7周目にセクター1、セクター2と自己ベストを更新し、自身最速タイムが出るリズムだったのですが、不運な事にセクター3で想定外のトラフィックが発生しタイミングを逃してしまいました。たราบれればですが、セカンドローを狙えた可能性があったので残念です。

全てが上手くいけば、これまでで一番表彰台に近い手応えを感じています。皆様の応援、宜しくお願い致します。



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>



Kawasaki Puccetti Racing



PuccettiRacing



puccettiracing

Hikari Ookubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>



hikariokubo78



hikari_No78



hikariokubo78